

棒ノ折山山行報告

【山行日】2023年 11月 5日(日) 曇り後晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 5:30

【費 用】マイカー1台 : 2,400円

【メンバー】CL:鈴木、SL大西、

大塚、小林、関、藤原ト、渡辺

【コースタイム】岩舟支所 P5:30=さわらびの湯

P7:05/7:25~白谷沢登山口 7:50~白孔雀の滝

8:40/8:50~岩茸岩 9:30~棒ノ折山 10:15/10:35~

岩茸岩 11:10/11:15~滝の平ベンチ 12:00/12:30~

さわらびの湯 P13:15/13:30=羽生 SA14:45/15:10

=岩舟支所 P15:30



棒ノ折山のリクエストがあり、いつもの時季より1ヶ月早く計画した。岩舟支所を5:30分に出発し、東北道から圏央道を進み青梅 IC で降りる。ここから岩蔵街道、県道28号線、県道53号線を進み、



さわらびの湯の登山者用駐車場に車を止める。出発の準備をしたら隣のノーラ名栗グランピング場の駐車場に移動しトイレを済ませる。ストレッチを済ませたら出発し、さわらびの湯バス停から有馬ダムへの道路を登って行く。ダムの堰堤を渡り、ダム湖に沿って舗装道を歩くと白谷沢登山口に着く。ここから白谷沢に沿って左岸に付けられた登山道を登って行くと、最初の滝「藤懸ノ滝」が現れる。木立の奥に藤懸ノ滝が、優美な姿を見せて流れ落ちている。この先で道は沢に降り、楽

しいミニ沢登りが始まる。沢を渡って右岸に取り付、岩を登って行くと第一ゴルジュが現れる。

本コース一番のハイライトで、左右の岩壁が迫った第1ゴルジュを抜けるが、濡れた岩が滑りやすく中々手強い。さらに正面に立ちはだかる天狗滝を左から越えると、息つく間もなく第2ゴルジュが現れる。沢際にルートを探しながらゴルジュを抜けると、正面の岩壁をクサリ使って登って行く。岩に慣れない人は苦労していたが、岩登りが好きな人は楽しそうに登っていた。この岩場を登り切ると白孔雀ノ滝の落ち口に出て、この先は緩やかな沢沿いの道を歩くようになる。しばらく行くと木段の急な登りになり、登り切ると林道に出て、道路を渡った先のベンチで小休止する。



ここからは斜面を大きく九十九折れに登り、尾根に出ると尾根上を真っ直ぐに登り岩茸石に出る。



ここから権次入峠までは、樹林帯の中木段混じりの急登が続く。峠で小休止し、菓子をいただき疲れた足を休める。峠から西に進み、植林帯に沿って木の根が露出した歩き難い道に登り、ススキの間を抜けると棒ノ折山山頂に出る。広い山頂には東屋があり、大きな山頂標識が立っている。山頂標識の前で記念写真を撮り、東屋に移動して大休止する。あいにくの曇り空で展望が無いが、風も無く穏やかな天気です。ゆっくり足を休める。ゆっくり休憩したら下山開始し、岩茸石までは来た道に戻る。岩茸石の前で記念写真を撮り、ここから岩の脇を通って滝の平尾根を下って行く。明るい自然林の尾根だが、期待した紅葉にはまだ早くもう少し時期が遅い方が良さそうだ。林道を横切り、登り返すと間もなくベンチがありここでランチタイムとする。お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り、おにぎりやお稲荷さんをいただく。昼食が済んだら下山開始し、尾根上を進むと林道を2カ所横切る。高度が下がると杉やヒノキの植林帯の中を下り、河又の集落に出ると民家の先で入間川を渡る。渡った先から左に舗装道路を登り、まもなく駐車場に着いた。皆さんは歩いてノーラ名栗の駐車場まで行き、トイレを済ませて直売所でお買い物。我輩は靴を履き替えて、車を隣の駐車場に移動する。買い物が済んだら車に乗り、帰路につく。往路を戻り青梅 IC から圏央道に入り、狭山 PA でトイレ休憩とお買い物。圏央道と東北道は順調に走り、予定より早く岩舟支所に帰着した。

山開始し、岩茸石までは来た道に戻る。岩茸石の前で記念写真を撮り、ここから岩の脇を通って滝の平尾根を下って行く。明るい自然林の尾根だが、期待した紅葉にはまだ早くもう少し時期が遅い

方が良さそうだ。林道を横切り、登り返すと間もなくベンチがありここでランチタイムとする。お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り、おにぎりやお稲荷さんをいただく。昼食が済んだら下山開始し、尾根上を進むと林道を2カ所横切る。高度が下がると杉やヒノキの植林帯の中を下り、河又の集落に出ると民家の先で入間川を渡る。渡った先から左に舗装道路を登り、まもなく駐車場に着いた。皆さんは歩いてノーラ名栗の駐車場まで行き、トイレを済ませて直売所でお買い物。



我輩は靴を履き替えて、車を隣の駐車場に移動する。買い物が済んだら車に乗り、帰路につく。往路を戻り青梅 IC から圏央道に入り、狭山 PA でトイレ休憩とお買い物。圏央道と東北道は順調に走り、予定より早く岩舟支所に帰着した。

